

火葬場を仮想するワークショップ

— 未来に贈る火葬場とは? —



見送るときの気持ちにふれて、
待つあいだの時間を想像して、
ひとつずつ、ていねいに仮想する。

第3回

第3回のテーマは、「時間」と「空間」。
火葬場で過ごす“見送りの時間”“火葬中
の時間”“収骨後の時間”について話し合
いながら、それぞれにふさわしい過ごし
方や場所の在り方を考えました。「もっ
と心を整えられる場所があったら...」、
「静かに過ごせる空間がほしい」。そん
な声が、配置図や付箋を通じて少しずつ
形になっていきました。次回は、みなさ
んの“仮想”をもとにしたプランのお披露
目。これまでの対話が、どんなかたちに
なるのか。ご期待ください。

4/26(土) 13:30~16:00

高山市図書館「煥章館」生涯学習ホール
参加者：12名

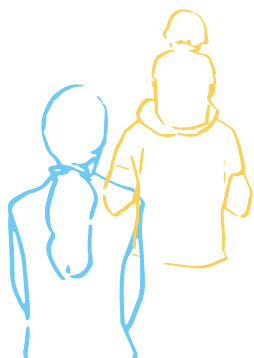
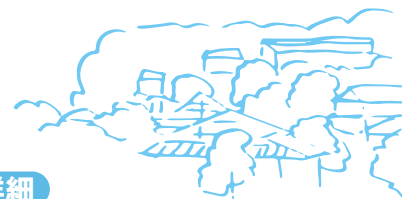
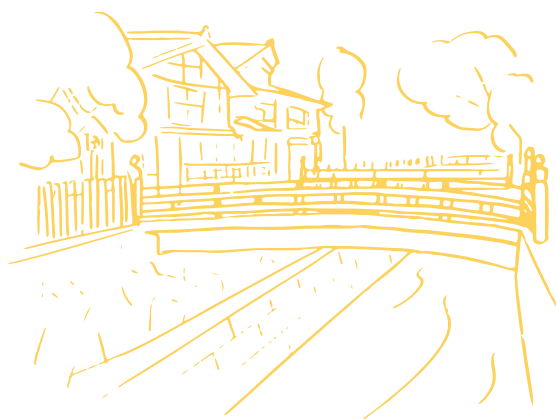
当日のプログラム

- 13:30 はじめに／前回のふりかえり
- 13:40 ワーク① 火葬場で過ごす「時間」
について考えてみよう
- 14:50 ワーク② 火葬場の「空間」に
ついて考えてみよう
- 15:55 まとめ・おわりに・次回案内

プログラム詳細

1 はじめに／
前回のふりかえり

前回のワークまとめ資料、スライドを使い
ながら第2回の内容についてふりかえりま
した。



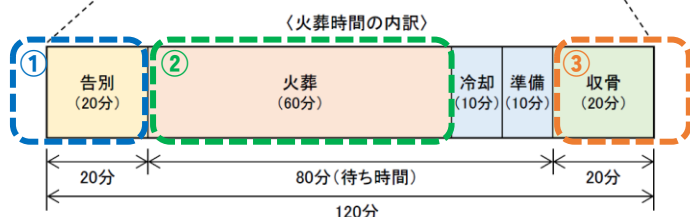
2 ワーク① 火葬場で過ごす「時間」について考えてみよう

火葬場で過ごす、見送り・待ち・収骨後の3つの時間。それぞれの場面で、どんな過ごし方が心に残るのかを話し合いました。

新火葬場の火葬タイムテーブル（案）

	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
1号 火葬炉				火葬③	清掃		火葬⑦	清掃	
2号 火葬炉				火葬④	清掃		火葬⑧	清掃	
3号 火葬炉		火葬①	清掃		火葬⑤	清掃			
4号 火葬炉		火葬②	清掃		火葬⑥	清掃			

正午前後の利用が集中する時間帯



茶色：過ごす時間についての意見 水色：場所・環境についての意見

ワークの結果を一部抜粋してご紹介

① 炉前で見送るまでの時間

- 故人の好きな音楽を流す（待合室でも）
- 待合室、ロビーが入りやすい環境であってほしい（今は遠慮して入りにくい）

② 火葬中の待ち時間

みんなで過ごす

- 故人との思い出を参列者と話す
- 故人のアルバム帳を持参して見てもらう、参列者がアルバムを見ながら話し合える
- 会場に故人が生前中の写真を数枚出しておく
- スクリーンがある
- 故人が一番願っていたことは何かを話してみる
- 故人のことを考えながら雑談
- 久々に会う人たちが多く、昔話に花が咲きそう
- ご飯を食べながらひたすらしゃべる
- たまにしか会わないので、孫やひ孫の話で盛り上がる
- 故人の人生を語りながら、子どもたちの将来・未来について語り合いたい
- お酒やジュースを飲みみんなですごせるといい
- 班の方たち（町内）とゆっくり思い出を語る
- 食事を食べたりやお酒を飲めるといい

自然や緑と過ごす

- 火葬場のまわりを見て歩く
- 花がきれいな立派な木がある（散歩道）
- 外で歩けるところがあるとリフレッシュで歩きそう
- 緑や花が美しい庭園を散歩したい
- 庭園、緑を感じるランドスケープがある
- 久々野火葬場は自然の環境がいいが、高山はむしろいいと感じない

ひとりまたは少数で過ごす

- お別れに対する、自分自身の心の整理
- （若くして亡くなった人に対して）心が整う空間や泣けるトイレ（天井が高いなど）がある
- 1人の時間が必要な人もいる
- 個室で着替えをしている（和装の喪服から平服へ）
- 時間的に、町のほうへ下るのは難しい
- 1人でゆっくり過ごせる、居られる場所がほしい
- 1人静かに思い出にひたる場所

子どもと過ごす

- 子どもが気分を切り替えられるよう散歩できる時間
- 子どもと散歩できる庭がある
- 個室で授乳している人がいる
- キッズルームで子どもと遊ぶ（4つの炉に対して1部屋あればいい）
- 小さな子どもがくつろいだり遊べることができ、式全体が終わるのを待てる場所
- 子ども達を遊ばせられる
- 子ども達が気楽に過ごせる



→前ページからの続き

その他の過ごし方

- お寺、お墓、仏壇などの今後についての話をする方も
 - 高齢や身体が弱い人がゆったりできる時間（部屋）
 - ゆとりのあるスペース
 - 他の参列者と顔を合さないで時間が過ぎせる
 - 別に休める場所があるといい
 - ゆったりとしたソファがある
 - 別棟や共用部でゆっくりすごす
 - 久しぶりに会う親戚と写真を撮る
 - 子どものとき暇だったので、本などがあれば読みそう
 - 火葬場とは別棟で食事する場所があるとよい
- （参考：愛知県の田原市）

③収骨が終わってからの時間

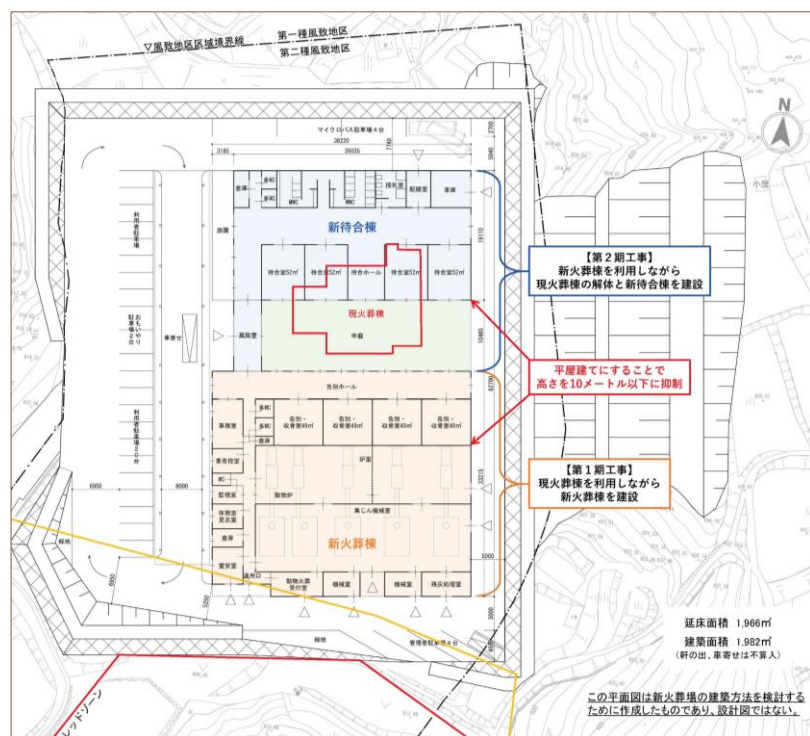
- 初七日ができる環境が火葬場にあれば
- 友・同級生と話せる場所
- 同級生で集まれるカフェ（そこまで大きくなくてもよい）
- イメージができない
- 遺族の人がゆっくりできる場所



3 ワーク② 火葬場の「空間」について考えてみよう

敷地全体の中で、どこに何があると過ごしやすいか。建物の配置や部屋のつながりをイメージしながら、火葬場の空間構成について話し合いました。

【使用図面】令和5年に、新火葬場建設地の立地上の課題（現施設を稼働しながらの建て替え）の解決策を検討するために作成した仮プランをもとに意見交換。



ワークの結果を一部抜粋してご紹介

- 待合室と告別収骨室が離れすぎている
→動線は短い方がいい
→中庭に通路をつくれればよさそう
- 告別・収骨室は、ロビーから近く、待合室へも近くがよい
- 待合室から中庭が見えるといい
- 他の会葬者とバッティングしたくない
- 散歩道をつくる（レッドゾーン近くは避ける）
- はなれに、キッズルームやカフェなどがあるとよい
- コンパクトに建物をまとめて、周囲に広場をつくったりしてはどうか
→50年後の建て替えも視野に入れる
- 2層構造にして、上階は会葬者の動線にしてはどうか
→ただし、休憩しているスペースの真下に炉があるのはよくない
- 現火葬場のあった場所を大事にする

進行役よりコメント

火葬場での「時間」と「空間」について、こんなにもあたたかな視点で語り合えることに、心が動きました。ひとつひとつの声が、誰かにとってのやさしい時間と空間をつくるヒントになっているように思います。次回は、これまでの“仮想”をかたちにしたプランのお披露目。新しい火葬場のどんな姿が見えてくるのか、楽しみにしててください。

主催：高山市役所 市民福祉部
火葬場建設推進課
協力：東畑建築事務所／LifeWork
発行：2025年4月26日